

でんどうでし げんばぶんせき
伝道弟子の現場分析



Ⅱテサロニケ 1:1~12 その日に、主イエスは来られて、ご自分の聖徒たちによって栄光を受け、信じたすべての者の——そうです。あなたがたに対する私たちの証言は、信じられたのです——感嘆的となられます。そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うして下さいますように。それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。(10~12)

1. テサロニケはエーゲ海の北西に位置するマケドニアの重要な港町であって、ローマとアジアを結ぶ交通の要地でした。
2. 本来は1km離れたトマ（温泉地域）が中心でした。
しかしB.C 315年ごろ、マケドニア王カッサンドロスが住民を移住させました。
妻であり、ピリポ王の娘であり、アレキサンダー大王の腹違いの姉であるテサロニケの名前にちなんで付けられた地名です。
- B.C. 168年、ローマの属国になりました。
3. パウロ当時の人口は12万人であって、会堂などがあつたと思われます。
パウロの2次伝道旅行の際には、多くの実を得ましたが、ユダヤ人の反対のために追出されたりもしました。3次伝道旅行の際には、アリストアルコ、セクンドのような忠実な弟子たちが随行したりもしました。(使 20:4~27:2)

聖日（主の日）のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

✔ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

テサロニケの伝道背景



使徒17:1~9 彼らはアムピポリスとアポロニヤを^{とお}って、テサロニケへ行った。そこには、ユダヤ人の^{かいどう}会堂があった。パウロはいつもしているように、会堂に入^{はい}って行^いって、三つの安息日^{あんそくにち}にわたり、聖書^{せいしょ}に基づいて彼らと論じた。そして、キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、また論証^{ろんしょう}して、「私^{わたし}があなたがたに伝えているこのイエスこそ、キリストなのです」と言った。(1~3)

1. 備えられた伝道弟子がいます

- 1) パウロチーム（テモテとシラス）がテサロニケでユダヤ人の会堂に入りました（使 17:1）
- 2) パウロはいつもしているように、三つの安息日に聖書に基づいて論じました（使 17:2）

2. 伝道の現場（会堂）が備えられていました（使 17:1）

3. 伝道の内容を持って入りました（使 17:3）

4. 伝道の実がたくさん結びました（使 17:4）

5. 伝道の妨げがありました（使 17:5~6）

6. 世論と騒動が起きました（使 17:8~9）

7. 揺れない弟子もいました（使 17:7）

聖日（主の日）のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

✓ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

■ 聖書 ■ 献金 ■ 筆記用具 ■ <子どもの祈りの手帳> ■ 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

ほろ 滅びの子を恐れてはいけない



II サロニケ 2:1~12 さて兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに關して、あなたがたにお願いすることがあります。靈によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちがわたしたちから出たかのような手紙によってでも、主の日はすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。(1~2)

1. 救われた信徒たちには再臨の望みがあります (II テサ 2:1)

2. 偽りの靈にだまされてはいけません

- 1) 主の日はすでに来たかのように言われるのを聞いて、落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしてはいけません (II テサ 2:2)
- 2) 滅びの子が現われなければ、主の日は来ないからです (II テサ 2:3~10)
 - 滅びの子は敵対する者です
- 3) 惑わず靈にだまされてはいけません (II テサ 2:11~12)

3. 神様に感謝する理由があります (II テサ 2:13)

- 1) 初めから救いにお選びになったからです
- 2) 聖靈によって聖なるものとされたからです
- 3) 真理による信仰によって救いを受けたからです

せいじつ (しゆひ) のために、
れいはい (じゆんぴ) をしてれいはい (れいはい) をささげみことばを
わたし (せいかつ) に適用することまで、すべてがれいはい (れいはい) です



かみ (れい) 神は靈ですから、かみ (れいはい) 神をれいはい (れいはい) する者は、もの (れい) 靈とまことによって
れいはい (れいはい) 礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

✓ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

せいしょ 聖書 けんきん 献金 ひっきようぐ 筆記用具 こ (いの) 子どもの祈りの手帳 てちやう 週報 しゅうほう 読む





タイトル

せいしよかしよ
聖書箇所

こんしゅうにぎ
今週握るみことば

こんしゅう (いの) 今週の祈りの課題

キリストの忍耐を持ちなさい



Ⅱテサロニケ 3:1~5 終わりに、兄弟たちよ。私たちのために祈ってください。主のみことばが、あなたがたのところと同じように早く広まり、またあがめられますように。また、私たちが、ひねくれた悪人どもの手から救い出されますように。すべての人が信仰を持っているのではないからです。しかし、主は真実な方ですから、あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいませ。私たちが命じることを、あなたがたが現に実行しており、これからも実行してくれることを私たちは主にあって確信しています。どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせてくださいますように。

1. パウロはテサロニケの信徒に「私たちのために祈ってください」と言いました（Ⅱテサ 3:1）

- 1) みことばがテサロニケ信徒の中で働くように祈りました
- 2) みことばに従って行く生活を求めました
- 3) みことばが広まって、あがめられるように求めました

2. 「キリストがあなたがたを守ってくださる」と言いました（Ⅱテサ 3:2~3）

- 1) ひねくれた悪人どもの手から救い出されるように求めました（Ⅱテサ 3:2）
- 2) すべての人が信仰を持っているのではないと言いました（Ⅱテサ 3:2~3）

3. 「私たちが命じることを実行しなさい」と言いました（Ⅱテサ 3:4）

- 1) 主にあってこれからも実行してくれることを確信しているとしました（Ⅱテサ 3:4）
- 2) 主が心を導いてくださると言いました（Ⅱテサ 3:5）
- 3) 神の愛とキリストの忍耐とを持たせてくださいますようにと言いました（Ⅱテサ 3:5）

聖日（主の日）のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

✓ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

☐ 聖書 ☐ 献金 ☐ 筆記用具 ☐ <子どもの祈りの手帳> ☐ 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題
